



筑北小学校だより

令和2年12月9日

No. 9

校長 久保田雅樹

◆ここをひとつに 音楽会

6月末に予定していた新筑北小学校第1回の音楽会が延期になり、ちょうど1か月前の11月14日（土）に行われました。新型コロナ対策として、全校が体育館に集まることを避けるため、第1部は金管バンドの発表、第2部は4・2・5年生の発表、第3部は3・1・6年生の発表という3部構成に分けて行いましたが、テレビ松本さんに生中継をしていただいたので、他の部の発表も教室で鑑賞することができました。

例年とは違う形での音楽会でしたが、皆で心をそろえて精一杯演奏する姿は、例年に勝るとも劣らないすばらしい音楽会でした。参観範囲も制限せざるを得ず、申し訳ありませんでしたが、参観くださった方、テレビでご覧頂いた方、発表を支えてくださった方、全ての方に感謝申し上げます。来年度は一堂に会してと願っております。



金管バンド「Smoke on the water」「紅蓮華」「筑北小学校校歌」

短い時間の中で練習に励み、校歌も含めて3曲を披露！



4年「陽気な船長」「駅」「Wish～夢を信じて」
澄みきった空が目に見えようでした



2年「山のボルカ」「こぎつね」「帰りの会のサンバ」
サンバのリズムにのって振り付けもバッチリ！



5年「ALWAYS3丁目の夕日」「船出の朝」
一番人数が少ないなんて感じさせない歌声でした



3年「坂道」「よろこびの歌」「チャレンジ！」
「チャレンジ！」のかけ声に元気をもらいました



1年「なかよし」「ミッキーマウスマーチ」「はじめましてのともだち」
「よろしくね」のポーズ きまりました！



6年「あなたに会えて…」「ハンガリー舞曲第5番」
さすが6年生、迫力ある演奏に引きつけられました

◆村福祉教育の日＜11/24(火)＞～なかよし月間～

毎年なかよし月間中の学校行事として、筑北村社会福祉協議会の共催を得て、「福祉教育に関する講演会」や「パラリンピック競技体験」を実施し、福祉教育の推進に役立てています。

1～3年は、長野県障害者スポーツ協会の荻野孝志さんを講師に、パラリンピックの種目にもなっているボッチャを体験しました。競技のやり方が分かるにつれて、チームごと声をかけたり作戦を立てたりするようになり、誰もが楽しめる上に、誰とでも一緒にできる競技であることを学びました。ルールが分かったので、パラリンピックを観る楽しみもできました。



また、4～6年は、情報バリアフリー・ラボ代表の伊藤英一さんを講師に、車いす体験をしました。内容は3つ。①自分で車いすを動かして移動する体験。②車いすを押してもらって移動する体験と車いすを押す体験。③車いすを押してもらって、段差を乗り越える体験です。

体験を通して、乗っている人が安心するように声をかけながら押すことや、車いすを使っている人が普通に生活できるようになるために、一緒に考えることなどを学びました。

